

雨水出水浸水想定区域図 (想定最大規模降雨)



- ・この図は水防法第14条の2第2項の規定に基づき指定する雨水出水浸水想定区域と浸水の深さを示した図面です。雨水出水浸水想定区域は赤線枠（下水道により雨水が排除される区域）のうちの着色された箇所です。
- ・この図では想定最大規模降雨（1時間雨量147mm）が生じた際に下水道施設からの浸水が想定される区域とその深さを表しています。
- ・この図は下水道施設からの浸水を表した図面なので、赤線枠外で想定される浸水は表現されていません。赤線枠外や着色されていない箇所であっても大雨や河川の増水などを原因とした、中小河川や排水路などからの浸水が発生する可能性があります。
- ・大雨の際はこの図で示した浸水以外に河川からの洪水による浸水の可能性もあるので、河川管理者から公表されている洪水浸水想定区域図もあわせてご確認ください。

凡例

最大浸水深

- 0.01～0.3m未満
- 0.3～0.5m未満
- 0.5～1.0m未満
- 1.0～3.0m未満
- 3.0～5.0m未満

公共下水道の排水区域

0 750 1,500 3,000 4,500 6,000 m

1/30,000(A3)

1. 説明文

- (1) この図面では、水防法第14条の2第2項の規定に基づく雨水出水浸水想定区域を浸水の深さに応じて色を分けて表示しています。
- (2) この雨水出水浸水想定区域は、浜松市内の下水道等の整備状況等を勘案して、想定最大規模降雨（1時間雨量147mm）により想定される下水道施設からの浸水の状況を浸水シミュレーションにより想定したものです。
- (3) この図において、水防法第14条の2第2項の規定により定められた雨水出水浸水想定区域は、公共下水道等の排水区域（赤枠）のうち浸水が想定される区域（着色部）で示しています。
- (4) 川が氾濫した場合、または土地利用や雨の降り方などによっては、着色されていない地域で浸水が発生するなど、この図で示した浸水状況と異なる場合があります。

2. 基本事項

- (1) 作成主体：浜松市
- (2) 指定年月日：令和7年3月31日
- (3) 指定の根拠法令：水防法（昭和24年法律第193号）第14条の2第2項第4号
- (4) 指定の前提となる降雨：想定最大規模降雨（1時間雨量147mm）

3. 備考

- ・シミュレーション実施に当たっては、指定の前提となる降雨を越える規模の降雨、津波・高潮・河川の破堤や越水による氾濫等を考慮していませんので、この図での想定を超える浸水が発生する可能性があります。
- ・浸水深を算出するために用いている地盤の高さは、国土地理院の基盤地図情報（5mメッシュ航空レーザ測量、2016年10月～2022年1月更新）を使用しました。
- ・背景図は国土地理院の基盤地図情報（2024年1月～10月更新）を用いています。更新日以降で開発行為など様々な事業により建物、道路の配置が変わった場合、本想定と乖離がある場合があります。

測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 701

